

PETRA

ナバタイの都

およそ二千年以上前、ペトラはシアラ山地の中心部に、ナバタイ人によって建てられました。古代メソポタミアやエジプトを結ぶ主な貿易路の重要な交差点であったペトラは、紀元前1世紀から1世紀の間(日本では弥生時代)に最盛期を迎えました。ナバタイ人の素晴らしい文明が残した、砂岩の岩壁を精巧に彫り込んだ岩窟墓や、非常に保存状態のよい建造物、モニュメントなどを、今日でも眼にすることができます。

サービス

- ペトラ遺跡公園内では以下の施設やサービスをご利用できます。
- お飲物(ソフトドリンク) 園内のいくつかの売店にて。
 - お食事: レストラン「バシム」または「ナバテアン・テントレストラン」にて。
 - 馬: ビジターセンターからシークの入口まで。
 - 馬車: ビジターセンターから宝物殿(エル・ハズネ)まで。
 - ラクダ: カスル・アル・ビンドから宝物殿(エル・ハズネ)までのみ。
 - 博物館等: レストラン「バシム」の横に博物館があります。また、ビジターセンター
 - トイレ

無料版



皆様へのお願い

- 入場券には、「ペトラ・バイ・ナイト」の入場料は含まれていません。ペトラでは、自然災害(洪水、地滑り、地震など)が予測せず発生する恐れがありますのでご注意ください。
- ペトラ遺跡公園の入場券は、発行日からのみ有効です。ご注意ください(1日券の場合は、発行日のみ有効で、数日券の場合、発行日から数えての日数分のみ有効です)。
- 遺跡の保全にご協力ください。色のついた石や、植物、土器片、碑文などを採集することは禁じられています。
- 動物の虐待を見つけた際にはビジターセンターや、観光ボランティア(管理官)に教えてください。許可を取っていない動物に乗ることは、自らの責任においてお願いいたします。
- 遺跡公園内で喫煙することは禁止されています。日没前には遺跡公園を出るようして下さい。
- もし遺跡公園内で道に迷ってしまった場合でも、まずは落ち着いて、今のあたりを判断するようにしてください。大声、笛、懐中電灯、カメラのフラッシュなどで、同じ合図を繰り返して4回送ることは、遺跡公園内では禁止されています。
- 雨天の際には、突然洪水になる恐れがあるため、渓谷や狭い場所を歩くのを避けてください。また、急な水の流れを横切らないようにして、安全な場所にいるようにしてください。
- ペトラ遺跡公園の入場券は、必ずペトラ遺跡公園のビジターセンターのみでお買い求めください。そして、ペトラ遺跡公園内観光中には、チケットの半券を必ず携行してください。他の観光客の方への入場券の転売は行わないようにしてください。
- 指定の遊歩道を歩くようにしてください。また、ゴミは遺跡公園内に設置してあるゴミ箱に捨てるようにしてください。
- 急で滑りやすい崖の道を歩かないようにしてください。また、お子様にはつねに目が届くようにしてください。
- 遺跡公園内では、児童労働、不法な販売、取引等に関与しないようにしてください。
- 地元の人々や個人の写真を撮影する場合は、写真を撮ってよいかどうか尋ねるようにしてください。
- シークの傾斜面は、車装が入り崩落しやすい状態で、現在専門家が調査中です。設置された機材等を動かさないようにしてください。また、崖でのクライミングは禁止されています。

お問い合わせ:
ペトラ遺跡公園

www.visitpetra.ja
info@visitpetra.ja
petraVisit
Visitpetra

ツーリストボリス 011 / 0777
お問い合わせ(英語) +962-79-929991
ビジターセンター +962-3-25 0044

凡例

- WiFi
- 乗馬地点
- 休憩エリア
- コーヒーショップ
- レストラン
- 応急診療所
- 遺跡公園入口
- 博物館・展示施設
- 駐車場
- トイレ
- 券売所
- 案内所
- ツーリストボリス
- 銀行ATM

Trails Guide

Trail	Approximate round-trip walking distance	Duration (walking)	Level of intensity
1. Main Trail*	8 km 5 miles	3.5-4 h	easy
2. Al-Khubtha Trail	3.5 km 2.2 miles	2.5-3 h	hard
3. High Place of Sacrifice Trail	3 km 1.9 miles	3.5-4 h	hard
4. Ad-Deir (Monastery) Trail	2.5 km 1.6 miles	2.5-3 h	hard
5. Umm Al-Biyara Trail	4 km 2.5 miles	3.5-4 h	hard
6. Jabal Haroun Trail**	7.5 km 4.7 miles	5-6 h	hard
7. Sabra Trail**	10 km 6.2 miles	6-7 h	moderate
8. Al-Madras Trail	1.5 km 0.7 miles	1.5 h	moderate

PETRA

ペトラの歴史

メイントレイル

古代都市ペトラがいつ建造されたのか、正確な年代については、まだ謎に包まれています。しかし、紀元前1世紀以降には、乳香、没薬、香辛料などの貿易で富を蓄えたナバタイ王国の首都として、ペトラは歴史の舞台上に登場します。ローマ帝国に併合された後も、ペトラは繁栄し続けますが、363年に発生した大地震により、ペトラは壊滅的な被害を受けます。またちょうど同じ頃、貿易路がこれまでのルートから別のルートへと変わったこともあり、ペトラは没落の一途をたどり、ついには町が放棄されてしまいます。7世紀中ごろには、ペトラの大半は廃墟化して、地元のベドゥイン以外には忘れられた遺跡となっていました。

1812年、スイス人探検家のヨハン・ルートヴィヒ・ブルクハルトが、ペトラを「再発見」します。アラブ風の風貌を装ったブルクハルトは、同行したベドゥインの道案内を説得して、この失われた都市へと案内してもらいました。ブルクハルトの再発見の後、ペトラは魅力的で美しい古代都市として、徐々に西欧の人々の知るところとなっていきます。そして今日に至るまで、多くの訪問者をひきつけてやみません。

ペトラはその驚嘆すべき岩肌の色合いから、「薔薇色の都市」とも呼ばれています。この美しい岩石から、ペトラの町の中にある多くの建造物が生みだされました。ナバタイ人は、岩山を彫り込んで墓をつくり、そこに亡骸を埋葬していました。ペトラの町には神殿や劇場もあり、ローマ帝国の併合後は列柱道路が、また後のビザンチン帝国の影響下では、教会が建設されました。

また、ナバタイ文化の古代都市という壮麗な遺跡のみならず、ペトラ地域には、1万年以上にわたり、人類が大地を利用し、集落を築いてきた痕跡がみられる遺跡もあります。そこでは、大自然と人間の文化が、見事に融合しているのを目の当たりにします。

방문자 센터



방문자 센터는 고대 도시 페트라; 여기에서 구입할 수 있습니다 티켓, 픽 가이드 및 정보 얻기 사이트 방문.

박물관



1 Djinn 블록



여기에 네모 난 기념비 안 3 개의 거대한 Djinn 블록이 있습니다. 그런 다음 AD 1 세기에 나바 테아 인이 조각 한 오벨리스크 무덤을 보게됩니다. 무덤 위에는 네 개의 피라미드 ('nafesh')와 거기에 묻힌 다섯 사람을 상징하는 열두 조각상이있는 틈새가 있습니다. 아래는 연회장 Triclinium입니다. 맑은 면 절벽에는 나바 테아와 그리스어인 매장 기념물을 가리키는 이중 비문이 있습니다. 'Abdomarchos'에 의해 쓰여진이 무덤은

2 댐

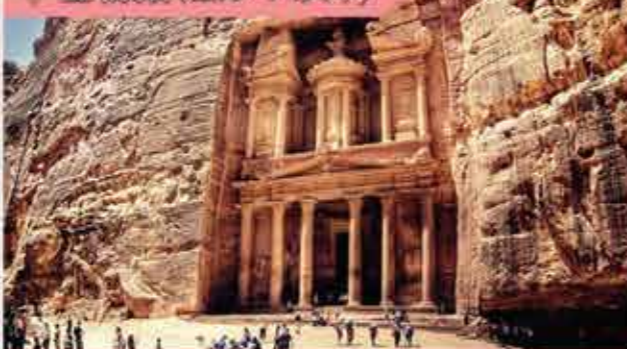
このダムは、洪水の際にワディム・サ渓谷から流れてくる水が、シークに入りこまずに、ワディアル・ムスリム渓谷とワディマハツ渓谷の方に流れ込むようにするため、ナバタイ人によって建てられたダムです。その横には、88mの長さにおよぶトンネルが洪水時の水の流れを変える目的で、岩盤を彫削して作られました。ナバタイ人は、水利技術に大変秀でていました。

3 シーク



シークはペトラの都市部へとつながる1km以上の長さの峽谷で、山の中に自然の力で形成された巨大な裂け目です。その入口にはかつて旋回門のアーチがかかっていました。シークの両側には水路が走っています。シークはペトラへと通じる劇的な効果をも備えた入城路であるのみならず、遺跡の舗装の跡や、サピノス・アレクサンドロスの廟、またナバタイ人のペテル(神聖な石板)のような、ペトラの歴史を伝える遺産が多く残されている場所でもあります。

4 宝物殿(エル・ハズネ)



シークの狭い道を歩いていくと、ペトラにおいてもっとも壮麗な岩窟建築である「宝物殿(エル・ハズネ)」に至り、境界が開けます。約40mの高さの宝物殿は、コリント式の柱頭、フリーズ(建築物の彫刻的装飾)、彫像などによる複層的な装飾が施されています。頭頂部には壺型の装飾がありますが、地元の伝説では、この壺の中に古代のファラオの宝物が隠されているとされていました。宝物殿の本来の目的や用途については、いまだ謎に包まれています。建造年代は恐らく紀元前1世紀と考えられています。

5 ファサード通り

宝物殿(エル・ハズネ)を通ぎ、シークの外側部分(アウトワー・シーク)に進むと、隣接する南側の崖面に、ナバタイの岩窟墓が並んで彫り込まれているのを目にします。ここは「ファサード通り」と呼ばれています。ここに並ぶ岩窟墓の頭頂部は、両端の階段状装飾、付柱(装飾用の柱)、カベット(表面の装飾)で装飾されています。67号墓は、墓の屋根の際に職人が用いた工具を収蔵していたと思われる開口部分を上部に持つのが特徴的な墓です。825号墓は、ナバタイの墓送儀礼用のモニュメントで、頭頂部に階段状装飾とエジプト式のカベットが見られます。

6 犠牲祭壇



岩山を削った階段を登っていくと、山上の高地にある祈りの場、犠牲祭壇(High Place of Sacrifice)にたどり着きます。ここからは古代都市の見事な眺望を眼下に望むことができます。犠牲祭壇では、重要な祭祀儀礼が執り行われていました。

7 劇場

犠牲祭壇のふもとにあたる岩山を彫削して建造されたこの劇場は、約4000名の観客を収容できました。観客席部分(オーティリウム)は通路によって上下方向に3つの部分に分かれており、観客席まで上っていくための階段が設けられていました。舞台の背面の壁はローマ時代に再建されたものです。岩山を彫削して建造した劇場としては世界有数のものです。

8 王家の墓



メイントレイルを歩いてペトラの町の中心部に至ると、壮麗な岩窟墓が隣り合せて並んでいるのが右手に見えます。ここは王家の墓と呼ばれ、次の4つの岩窟墓が並んでいます。

8.1 壺の墓(Urn Tomb)

壺の墓は、頭頂部に壺型の装飾があることからこのように呼ばれています。建造年代は恐らく紀元70年頃です。墓の前には、両端に列柱が並ぶ中庭がありました。墓の内部の高くなった場所には、3つの壁が残り、亡骸を安置する埋葬室となっていました。しかし446年になると、この墓はキリスト教の教会に変えられました。

8.2 絹の墓

この墓は、その表面を彩る岩肌の多様な色彩により、ひととき目立つものとなっています。

8.3 コリント式の墓

この墓の上部は宝物殿と似ているものの、著しく風化してしまった状態にあります。墓はナバタイ様式と、古代ギリシア・ローマの建築様式の様々な要素が融合した形になっています。

8.4 宮殿のモニュメント

2世紀初頭のこの遺跡は、壮大な5層構造になっており、恐らく饗宴や葬送儀礼に用いられたと思われる。この遺跡の背後にはダムと貯水槽があり、遺跡が立つ場所の北側に掘り込まれたプールに雨水を引き込む形になっています。

9 ニンファエウム(水の妖精の泉)



この遺跡は、半円状の形をした泉(公共用噴水)で、ワディム・サ渓谷とワディマハツ渓谷の合流点付近に位置しています。噴水は、ナバタイ様式の柱6本で装飾され、深谷の反対側にあった貯水タンクから水が供給される仕掛けになっていました。今では、樹齢450年の野生のビスタチオの木に覆われています。

10 ペトラ教会



ペトラ教会は、恐らく5世紀末に建立されたと考えられています。6世紀には火災と、恐らく地震により破壊されました。柱、扉の倒柱、浮き彫りの装飾などの教会の建材は、教会が建てられる前にペトラにあった遺跡の建造物を再利用したもので、高僧の側室に敷きつめられた保存状態のよい床面モザイクが、非常に立派であることも分かるように、ペトラ教会は大変重要な教会でした。

11 列柱道路



この道路はもともナバタイ人の手によるものでしたが、後にローマ帝国が支配する時代になって、改修工事が行われました。当時のペトラの町でいちばんのショッピングストリートであったと考えられます。

12 大神殿



大神殿は、ペトラの中心部における代表的な建造物のひとつです。この遺跡は、上部の神殿の聖域(テメノス)、および南北の通路部分もしくは下部の聖域を含むと、およそ7千平米の面積があります。約15mの柱と、その柱の上に乗る水平の部分を合わせると、神殿の柱の高さは少なくとも18mはあったと推測されます。神殿の柱の高さは少なくとも18mはあったと推測されます。神殿の柱の高さは少なくとも18mはあったと推測されます。神殿の柱の高さは少なくとも18mはあったと推測されます。



13 カスル・アル・ビント



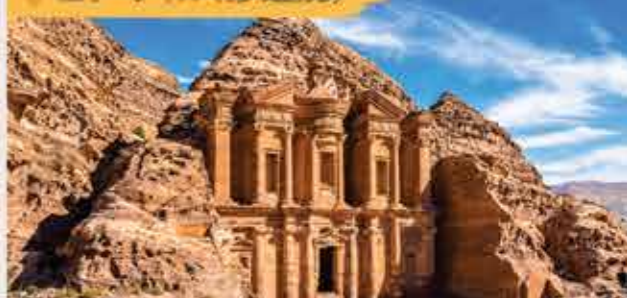
アラビア語で「(古代エジプトのファラオの)娘の宮殿」と呼ばれるこの遺跡は、ほぼ方形をした建造物で、土台の上に乗った形になっています。現在でも23mの高さでそびえるこの建造物は、ナバタイの主神トシヤラに捧げられた、ペトラの町で最も重要な神殿でした。この神殿には26段あった大理石の階段を上って入っていく形になっていました。神殿内の後部は3つの部分に分かれていて、中央部分には神像を安置した祭壇があり、両端部分にはバルコニーがあります。この神殿は1世紀前半に建立されました。

14 獅子のトリクリニウム



この遺跡は、エドデル(修道院)へと登っていく際の途中にあるもので、獅子の洋影が入口の両側面にそれぞれ彫られていることからこの名前がつけました。表面のファサードは垂直方向の飾り板が並ぶ装飾(トリグリフとその間の部分の空間)メープで装飾され、古代ギリシア神話の怪物メドゥーサの頭が両端についています。内部には少なくとも3つのベンチがあり、神像を安置した壁が入口の左側に彫り込まれています。

15 エド・ティル(修道院)



エド・ティル、もしくは「修道院」は、高さ48.3m、幅47mの大きさと、ペトラにおける最大の建造物のひとつです。内部には、両側面のベンチと、後背側の壁面にある祭壇があり、宗教的な集まりのためのビッグラム(宴會のための広間)として用いられました。建造されたのは2世紀初頭、ナバタイ王国最後の王ラベル2世の治世です。この内部空間は後にキリスト教の礼拝堂として再利用され、後背側の壁面には十字架が刻み込まれました。これが「修道院」の名前の由来です。

ペトラは1985年以来、ユネスコ世界遺産に登録されています。また、2007年7月7日、ポルトガルのリスボンで発表された「新・世界七不思議」のひとつに、ペトラは輝きました。



www.visitpetra.jo